



# 形材門扉用門柱PX・ET 105角

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。  
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

## ■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

### ■安全に関する記号と説明



警告

・取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。



注意

・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

### ■情報に関する記号と説明

施工上のお願い

・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。  
・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

### ■ねじ等の締結部品の記号

ねじやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1a、1b、2c等)

締結部品の種類は「**■梱包明細表**」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

## □ 施工の前に



警告

- 門扉は人や車の出入りする場所に設置するものです。使用用途・目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。特に開閉時の扉が公道（道路面）に飛び出さないようにしてください。



注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 指定寸法は必ず守ってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

### 施工上のお願い

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。

## □ 施工上のご注意



注意

- 外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
- 寒冷地では、門柱に水抜き穴をあけてください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。
- 製品の強度低下、またはケガのおそれがありますので、ボルト、ねじは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
  - ※M4・φ4ねじ: 1N・m±0.5N・m (10±5kgf・cm)
  - ※M5ねじ・ボルト: 3N・m±0.5N・m (30±5kgf・cm)
  - ※M6ボルト: 5.2N・m±0.5N・m (52±5kgf・cm)
  - ※φ4フィッシャープラグねじ: 2N・m±0.5N・m (20±5kgf・cm)

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

# チェックリスト

※下記項目は重要事項ですので必ず点検してください。

## ●施工

| No. | ページ          | チェック内容                   |                          |
|-----|--------------|--------------------------|--------------------------|
| 1   | 2            | 現場の条件に合った基礎の納まりを確認しましたか。 | <input type="checkbox"/> |
| 2   | 6~8<br>10~11 | 寸法指示に従って施工しましたか。         | <input type="checkbox"/> |

## ●取付

| No. | ページ          | チェック内容                                |                          |
|-----|--------------|---------------------------------------|--------------------------|
| 1   | 3~4<br>6~7   | 門柱・片開き受け部材の納まりを確認しましたか。               | <input type="checkbox"/> |
| 2   | 5~6<br>10~11 | 正しいねじを使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。 | <input type="checkbox"/> |
| 3   | 5~11         | 各部部品の取付け向きを確認しましたか。                   | <input type="checkbox"/> |
| 4   | 1・8          | 寒冷地、基礎下から水が抜けにくい構造になった場合に水抜き孔をあけましたか。 | <input type="checkbox"/> |

## □ 施工上のご注意

### 施工上のお願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
- ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
- ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
- 特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。

## □ 基礎工事について

### ▲ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- 門柱を壁などの側面や後ろに施工する際に弊社指定の基礎寸法が取れない場合は、壁などの基礎と門柱の基礎をつなげてください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

# 梱包明細表

| 【1】門柱     |    | 員数   |       |       |       |      |        |
|-----------|----|------|-------|-------|-------|------|--------|
| 名称        | 略図 | 両開き用 |       |       | 1本入   |      |        |
|           |    | PXWA | PXSA  | ETSA  | 吊元門柱  | 受け門柱 | ET受け門柱 |
| PX吊元門柱    |    | 2    | 1     | 1     | 1     | —    | —      |
| PX受け門柱    |    | —    | 1     | —     | —     | 1    | —      |
| ET受け門柱    |    | —    | —     | 1     | —     | —    | 1      |
| ET受け門柱カバー |    | —    | —     | 1     | —     | —    | 1      |
| 調整金具(上)右用 |    | 1    | 1(※1) | 1(※1) | 1(※1) | —    | —      |
| 調整金具(上)左用 |    | 1    | —     | —     | —     | —    | —      |

| 【1】門柱                     |    | 員数   |       |       |       |      |        |
|---------------------------|----|------|-------|-------|-------|------|--------|
| 名称                        | 略図 | 両開き用 |       |       | 1本入   |      |        |
|                           |    | PXWA | PXSA  | ETSA  | 吊元門柱  | 受け門柱 | ET受け門柱 |
| 調整金具(下)右用                 |    | 1    | 1(※1) | 1(※1) | 1(※1) | —    | —      |
| 調整金具(下)左用                 |    | 1    | —     | —     | —     | —    | —      |
| ワッシャー                     |    | 4    | 2     | 2     | 2     | —    | —      |
| 【1-1】M6×20十字穴付六角ボルト(Wセムス) |    | 16   | 8     | 8     | 8     | —    | —      |
| 【1-2】S6フィッシャープラグ          |    | 4    | 2     | 2     | 2     | —    | —      |
| 【1-3】φ4×35ネバタツピンねじ        |    | 4    | 2     | 2     | 2     | —    | —      |
| 【1-4】M4(外径25)平座金          |    | 4    | 2     | 2     | 2     | —    | —      |
| 【1-5】φ12プッシュボタン           |    | 4    | 2     | 2     | 2     | —    | —      |
| 片錠受け取付部品セット               |    | —    | —     | 1     | —     | —    | 1      |
| 取付説明書<EXM-184>            |    | —    | 1     | 1     | 1     | 1    | 1      |

※1 吊元門柱が1本入のものには、右勝手用の調整金具を同梱しています。左勝手へは組替えて使用します。

# 梱包明細表

| 【2】 門柱キャップ    |     |         |         |
|---------------|-----|---------|---------|
| 名 称           | 略 図 | 員 数     |         |
|               |     | 門柱キャップA | 門柱キャップC |
| 門柱キャップA       |     | 1       | —       |
| 門柱キャップC       |     | —       | 1       |
| 【2-1】キャップ取付部品 |     | 4       | 4       |

| 【3】 外開き用持送り |     |      |      |
|-------------|-----|------|------|
| 名 称         | 略 図 | 員 数  |      |
|             |     | 片開き用 | 両開き用 |
| 外開き用持送り     |     | 2    | 4    |

| 【4】 吊元金具カバー <span style="float: right;">オプション</span> |     |     |
|--|-----|-----|
| 名 称  | 略 図 | 員 数 |
| 吊元金具カバー  |     | 1   |
| カバー取付台座  |     | 5   |
| 溝カバー   |     | 1   |

| 【5】 門柱キャップB (吊元金具カバー取付専用品) <span style="float: right;">オプション</span> |     |     |
|---|-----|-----|
| 名 称   | 略 図 | 員 数 |
| 門柱キャップB   |     | 1   |
| 切欠き保護金具   |     | 2   |
| 【5-1】φ4×13ナベドリルねじ   |     | 15  |
| 【5-2】φ4×10サラタッピンねじ(D=6)   |     | 2   |
| 【5-3】M4×12サラタッピンねじ(D=6)   |     | 3   |

| 【6】 柱延長金具 <span style="float: right;">オプション</span> |     |     |
|--|-----|-----|
| 名 称  | 略 図 | 員 数 |
| 柱延長金具  |     | 2   |
| 【6-1】M5×15ナベねじ                                     |     | 6   |

| 【7】 補助アンカー棒 <span style="float: right;">オプション</span> |     |     |
|--|-----|-----|
| 名 称  | 略 図 | 員 数 |
| 補助アンカー棒  |     | 2   |

## 1 基本寸法図と各部の名称

※図は、H16内開き仕様を示します。

### 1-1 両開き仕様 ※( )内寸法は、エルネクスの納まり寸法です。

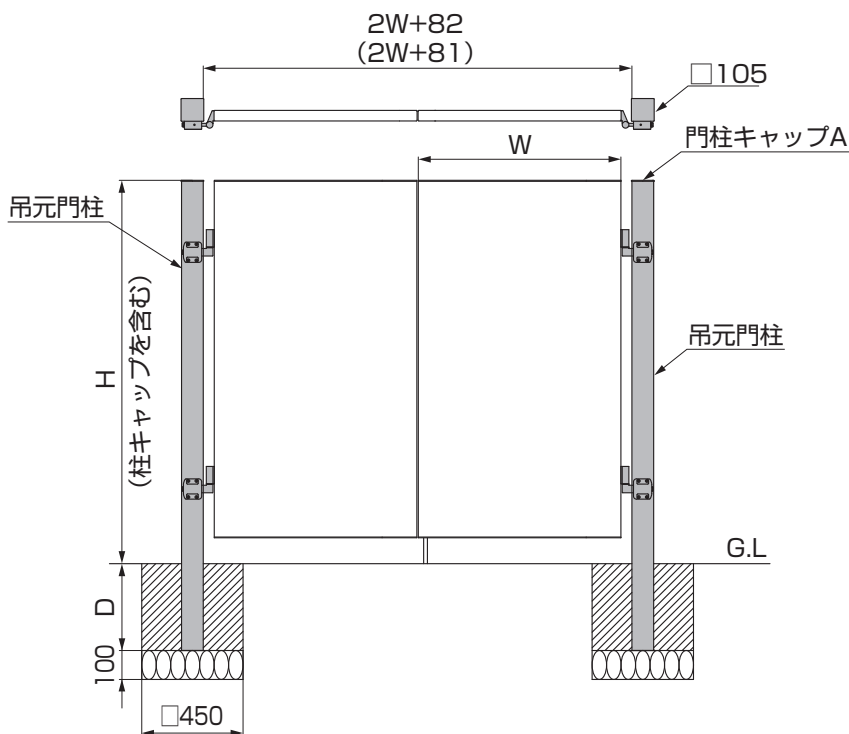


表1-1

| 呼 称 | W    |
|-----|------|
| 05  | 500  |
| 08  | 800  |
| 09  | 900  |
| 10  | 1000 |
| 11  | 1100 |
| 12  | 1200 |

表1-2

| 呼 称 | H    | D   |
|-----|------|-----|
| 14  | 1490 | 400 |
| 16  | 1690 | 500 |
| 18  | 1890 | 500 |
| 20  | 2090 | 500 |

1-2 PX片開き仕様

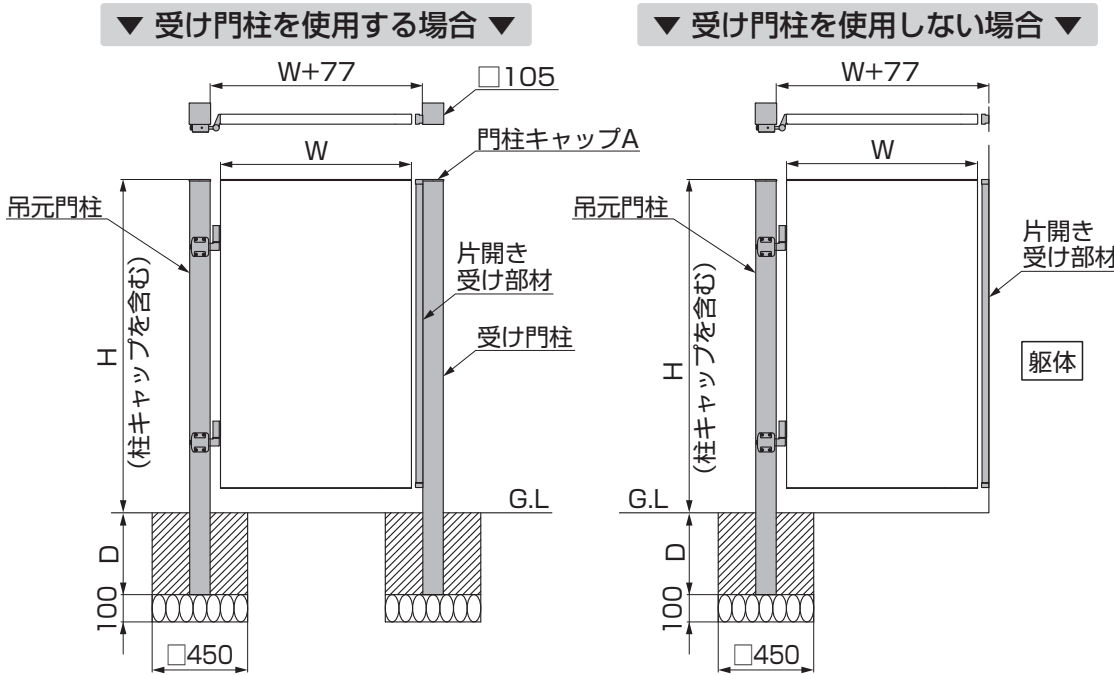


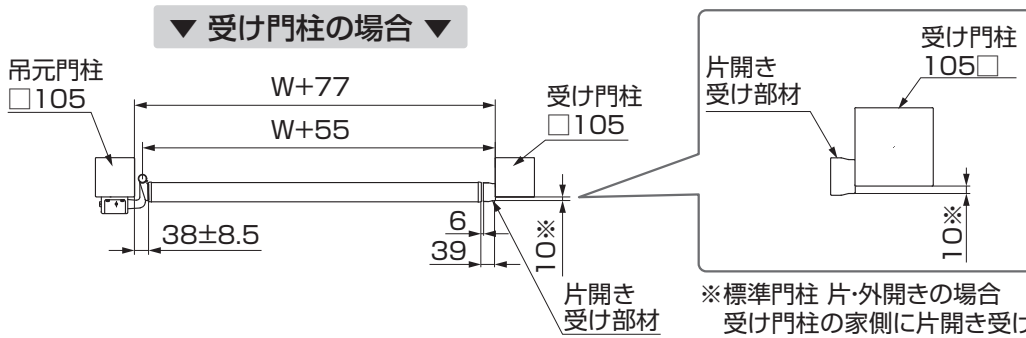
表1-1

| 呼称 | W    |
|----|------|
| 05 | 500  |
| 08 | 800  |
| 09 | 900  |
| 10 | 1000 |
| 11 | 1100 |
| 12 | 1200 |

表1-2

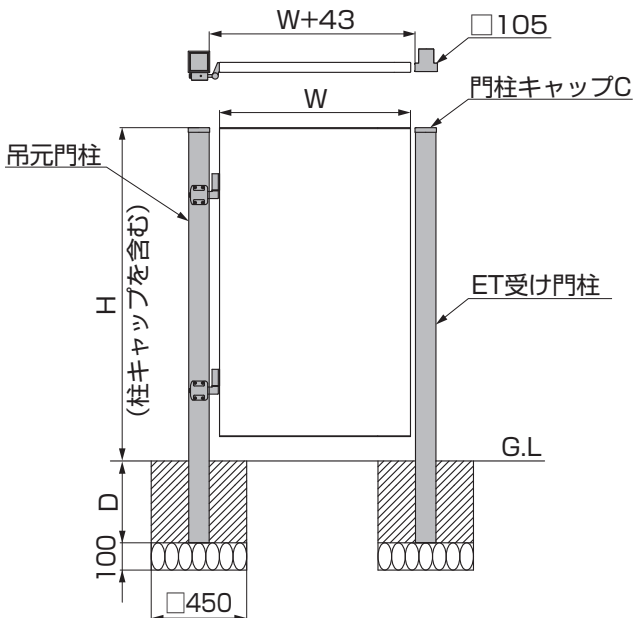
| 呼称 | H    | D   |
|----|------|-----|
| 14 | 1490 | 400 |
| 16 | 1690 | 500 |
| 18 | 1890 | 500 |
| 20 | 2090 | 500 |

1-3 PX片外開き仕様の片開き受け部材の納まり



※標準門柱 片・外開きの場合  
受け門柱の家側に片開き受け部材の取付面が10mmを飛び出した納まりとなります。詳細は門扉本体取付説明書をご確認ください。

1-4 ET片開き仕様



**施工上のお願い**

●ET片開き仕様は必ず受け門柱を使用します。

表1-1

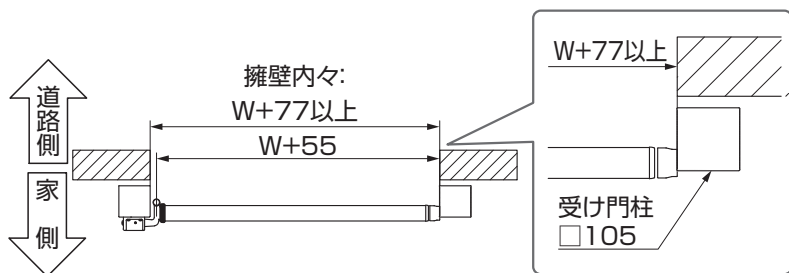
| 呼称 | W    |
|----|------|
| 08 | 800  |
| 09 | 900  |
| 10 | 1000 |
| 11 | 1100 |
| 12 | 1200 |

表1-2

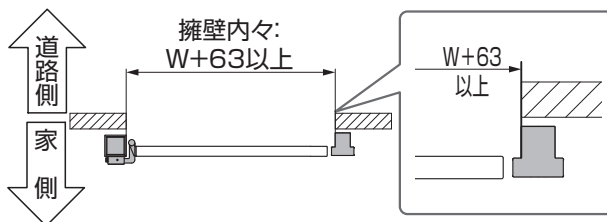
| 呼称 | H    | D   |
|----|------|-----|
| 14 | 1490 | 400 |
| 16 | 1690 | 500 |
| 18 | 1890 | 500 |
| 20 | 2090 | 500 |

## 1-5 片外開き仕様の場合の壁内々寸法

### ▼ PX受け門柱の場合 ▼



### ▼ ET受け門柱の場合 ▼



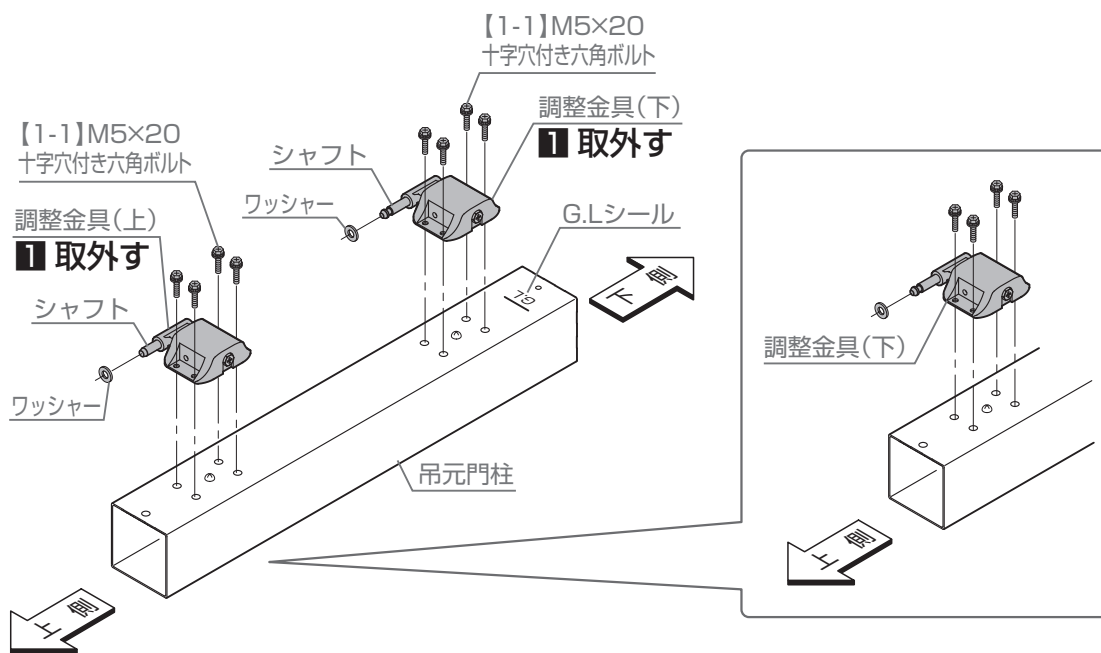
## 2 埋込み前の準備

### 2-1 吊元柱への調整金具の取付け

①: 吊元門柱に調整金具(上)と調整金具(下)を【1-1】で固定

#### 施工上のお願い

●片開きの左勝手の場合には「2-2」片開き、左勝手の組替え」にしたがって調整金具のシャフトを組替えてから行ってください。



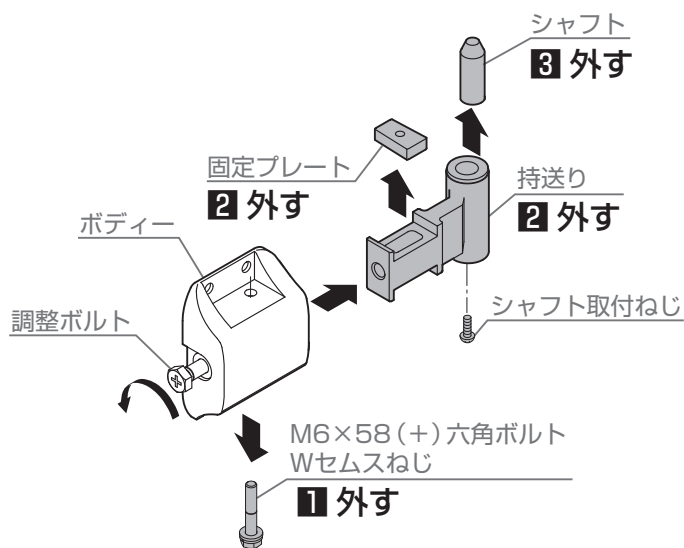
#### 施工上のお願い

●門扉本体にオートクローザーを使用する場合は、調整金具(上)(下)の位置を逆に取付けてください。

## 2 埋込み前の準備

### 2-2 片開き、左勝手の組替え

- 1: 「M6×58(+)  
六角ボルトWセムスねじ」を外す
- 2: 調整ボルトをゆるめて持送りと固定プレートを外す
- 3: シャフトを外し、逆側に付け替え



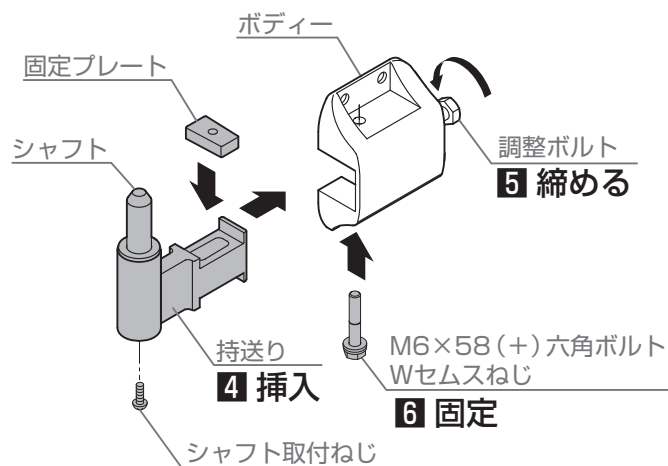
- 4: ボディーの向きを変え、持送りに固定プレートを乗せてボディーに挿入
- 5: 調整ボルトを締める
- 6: 「M6×58(+)  
六角ボルトWセムスねじ」を締め、持送りを固定

#### ▲ 注意

- 「M6×58(+)  
六角ボルトWセムスねじ」は必ず下から締めてください。  
※上から締めるとゆるむ原因になります。

#### 施工上のお願い

- シャフト取付ねじを外して再度取り付ける際は、必ず強くねじを締め付けるようにしてください。

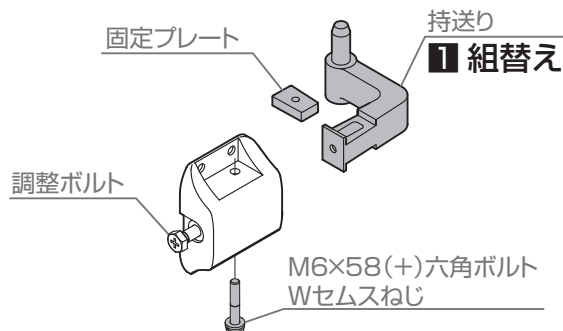


### 2-3 外開き用持送りの組立て

※外開き仕様時の作業です。

#### 2-3-1 持送りの組替え

- 1: 「M6×58(+)  
六角ボルトWセムスねじ」を外し、調整ボルトをゆるめて持送りを組替え

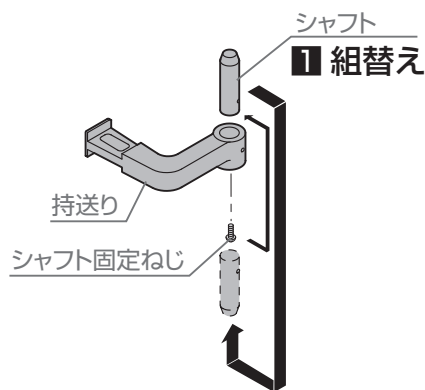


#### 2-3-2 片開き左勝手の場合

- 1: シャフト固定ねじを外し、シャフトを組替え

#### 補 足

- 調整金具の組替えは「2-2 片開き、左勝手の組替え」を参照してください。



#### 施工上のお願い

- シャフト取付ねじを外して再度取り付ける際は、必ず強くねじを締め付けるようにしてください。

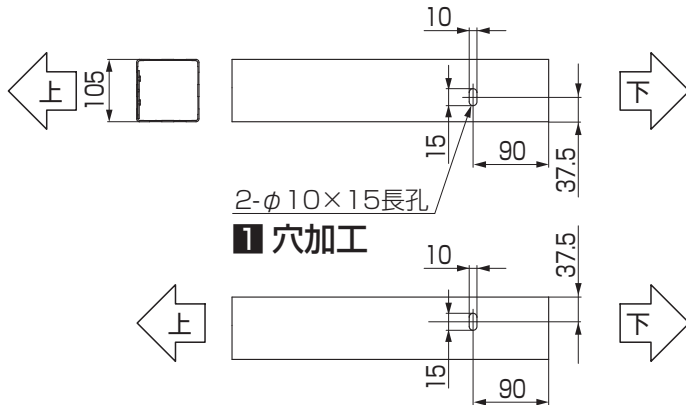
## 2 埋込み前の準備

### 2-4 補助アンカーを取付ける場合 オプション

#### 補 足

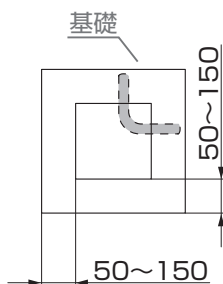
- 柱から基礎端部までの距離が50mm～150mmになる場合に実施してください。(図2-1参照)

1: 補助アンカーを取付ける面にφ10×15長孔を現場で穴加工



#### 施工上のお願い

- 隣り合う2面に加工してください。



### 2-5 柱延長金具を取付ける場合 オプション

#### 2-5-1 | 門柱の加工

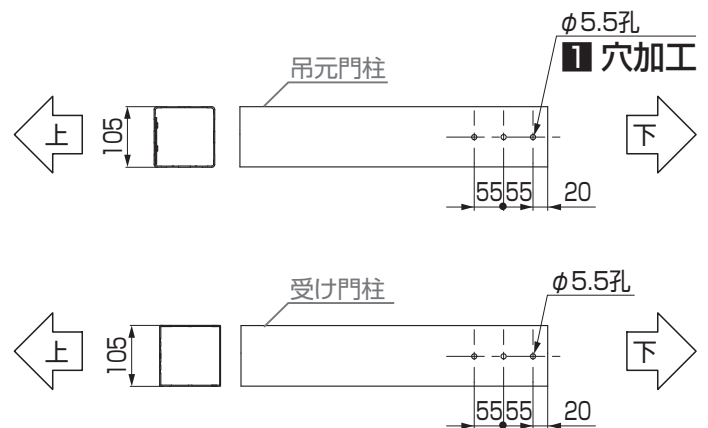
#### 補 足

- インターロッキング等の床材厚さの影響で柱埋込み深さが300mm以下になる場合に実施してください。

1: 柱延長金具を取付ける面にφ5.5の穴加工

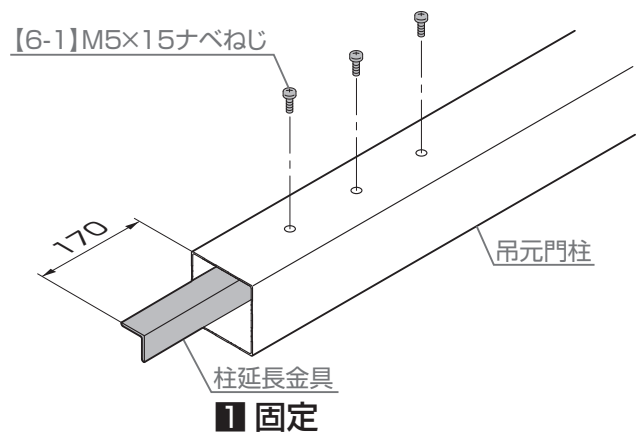
#### 施工上のお願い

- 吊元門柱には調整金具をつける反対面に孔あけ加工をしてください。
- 受け門柱には、埋め込みした際に道路側に来る面に孔あけ加工をしてください。



#### 2-5-2 | 柱延長金具の取付け

1: 門柱に柱延長金具を【6-1】で固定



# 3 門柱の埋込み

## 3-1 門柱の埋込み

※図中のH・Wは「1.基本寸法と各部名称」を参照してください。

①:門柱を施工図に従いコンクリートで固定

### 施工上のお願

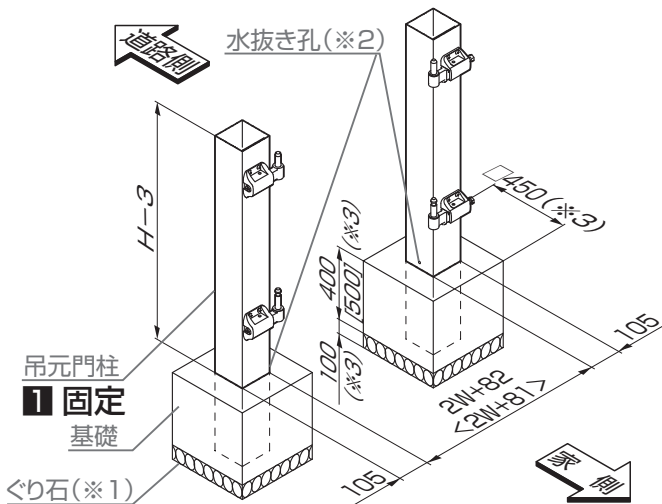
- 門柱は、垂直を出してから固定してください。

### 補足

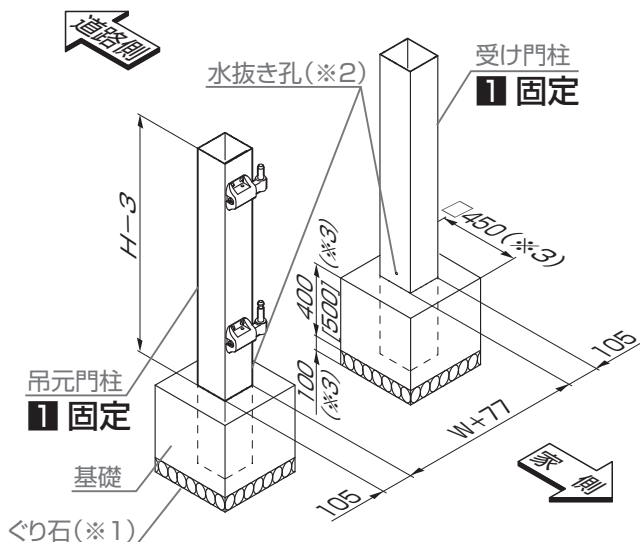
- 門柱の基礎は、基礎下に100mm厚のぐり石を施工等で水が抜ける構造にしてください。(※1)
- やむをえず水が抜けにくい構造になった場合はG.L.面より5mm程度上部の柱側面内側にφ5の水抜き孔をあけてください。(※2)
- 基礎寸法は指定寸法以上にしてください。(※3)
- 落し棒受けの取付け位置は門扉本体の取付説明書を参照してください。
- 受け門柱は、家側に埋込シールが来る向きで施工してください。

※<>内寸法は、エルネクスの納まり寸法です。

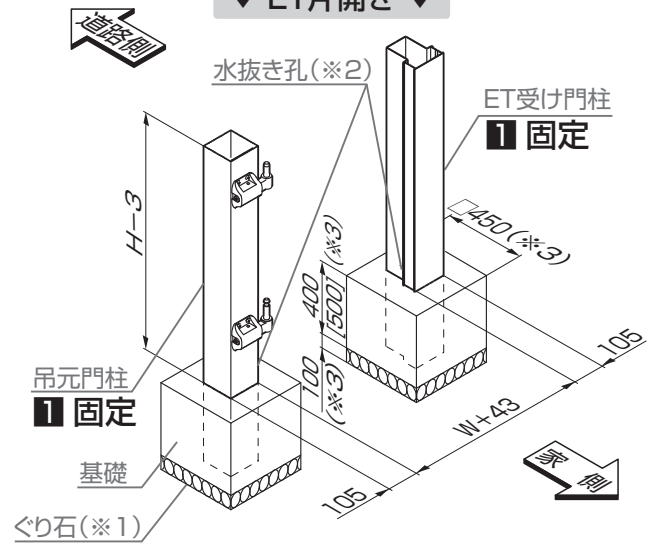
### ▼ 両開き ▼



### ▼ PX片開き ▼



### ▼ ET片開き ▼



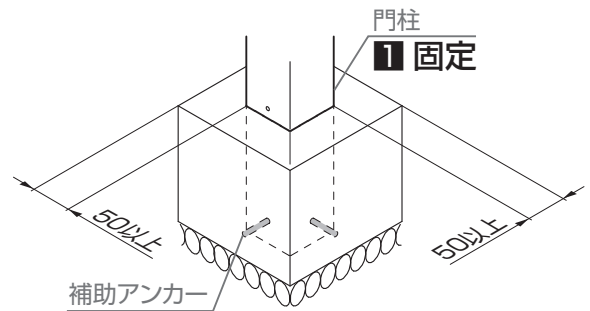
## 3-2 補助アンカーの場合

オプション

①:門柱に補助アンカーを通し、固定

### ⚠ 注意

- 門柱と基礎端部との寸法は必ず50mm以上確保してください。柱が倒れるおそれがあります。



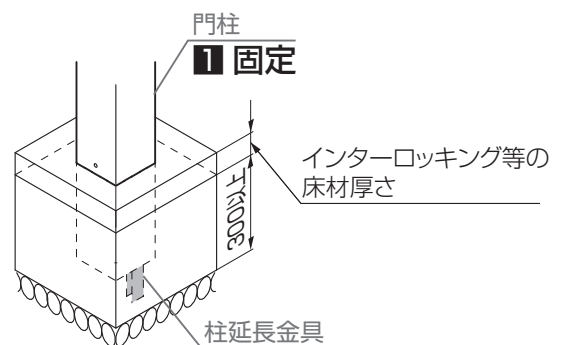
## 3-3 柱延長金具の場合

オプション

①:基礎穴を掘り、門柱を建込んで固定

### ⚠ 注意

- 基礎の深さは必ずインターロッキング等の床材厚さの下端から300mm以上確保してください。柱が倒れるおそれがあります。

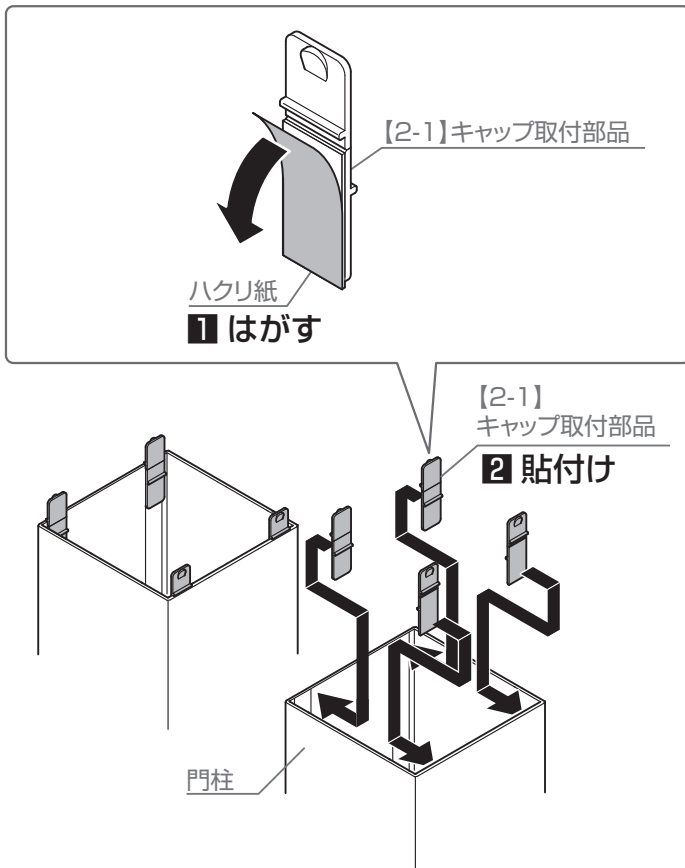


# 4 門柱キャップの取付け

※吊元金具カバーを取り付ける際は以下の作業は不要です。  
次項をご確認ください。

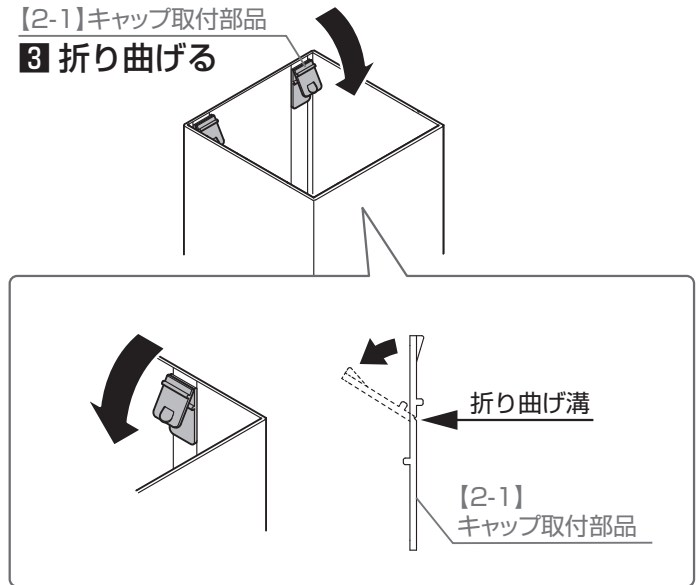
## 4-1 門柱キャップA・Cの取付け

- 1: [2-1]からハクリ紙をはがす
- 2: [2-1]を門柱の内側に貼付け

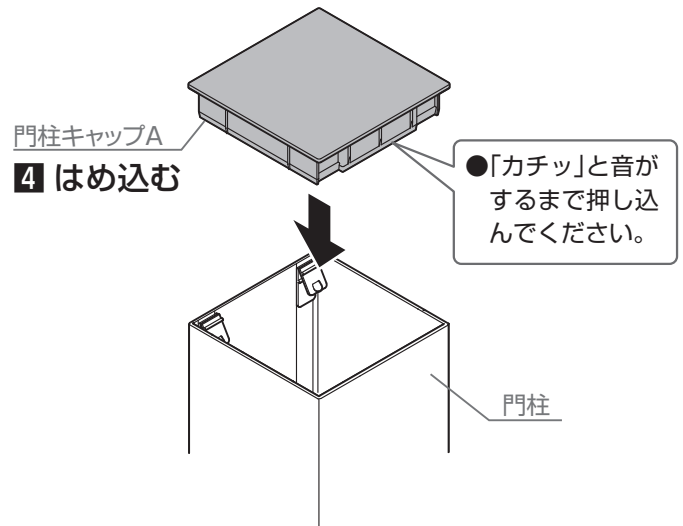


- 3: [2-1]を折り曲げる

- [2-1]キャップ取付部品
- 3 折り曲げる

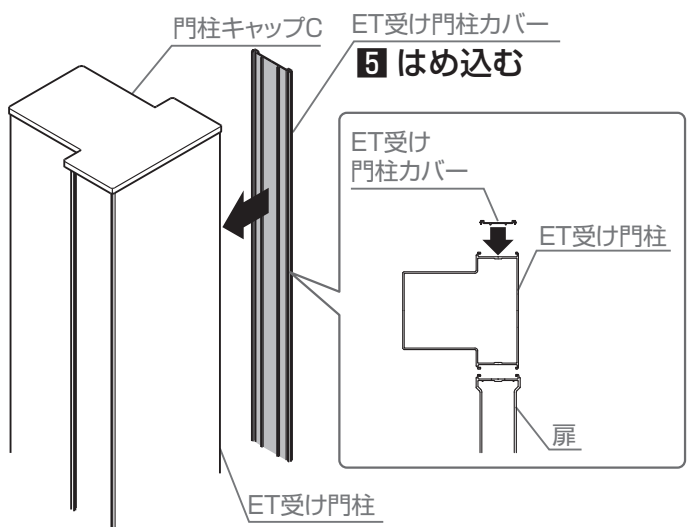


- 4: 門柱キャップA・Cを門柱にはめ込む



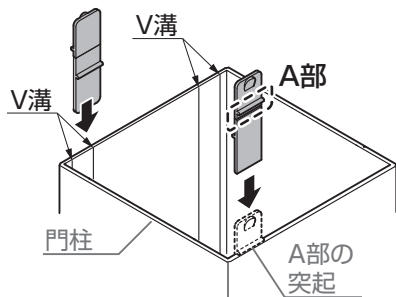
- 5: ET受け門柱の場合、ET受け門柱カバーをET受け門柱にはめ込む

- 施工上のお願い
- PT受け門柱カバーはG.L面から門柱キャップCまでに納まる長さになっています。

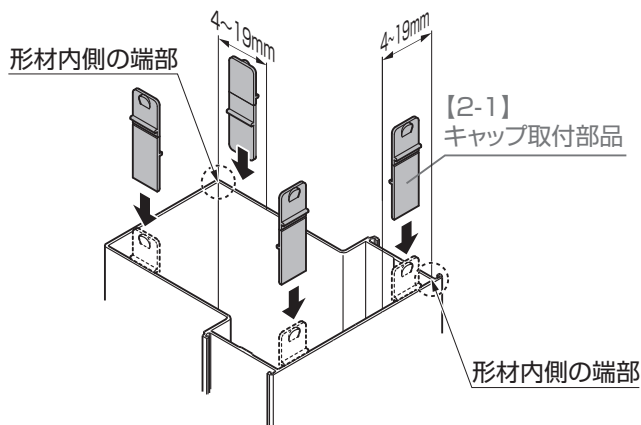


### 施工上のお願い

- PX門柱の場合、門柱の溝に沿わせて貼付けてください。また、縦の位置はA部の突起が型材の小口に当たる位置としてください。  
※位置がズレると組付かない場合があります。



- ET受け門柱の場合は、下図の型材内側の端部から4mm～19mmの間にキャップ取付部品を取付けてください。

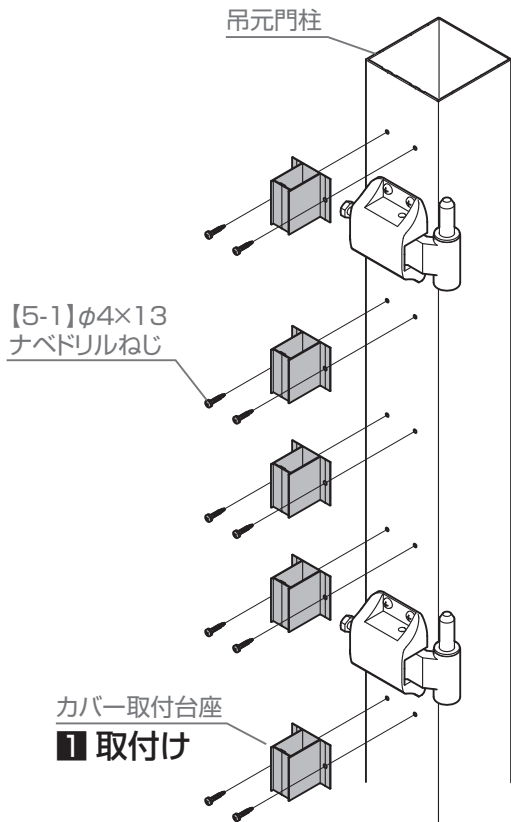


# 5 吊元金具カバーの取付け (オプション)

※この作業は門柱キャップが取付いていない状態で行ってください。

## 5-1 カバー取付台座の取付け

1:カバー取付台座は取付孔を表5-1を参考に【5-1】で取付け

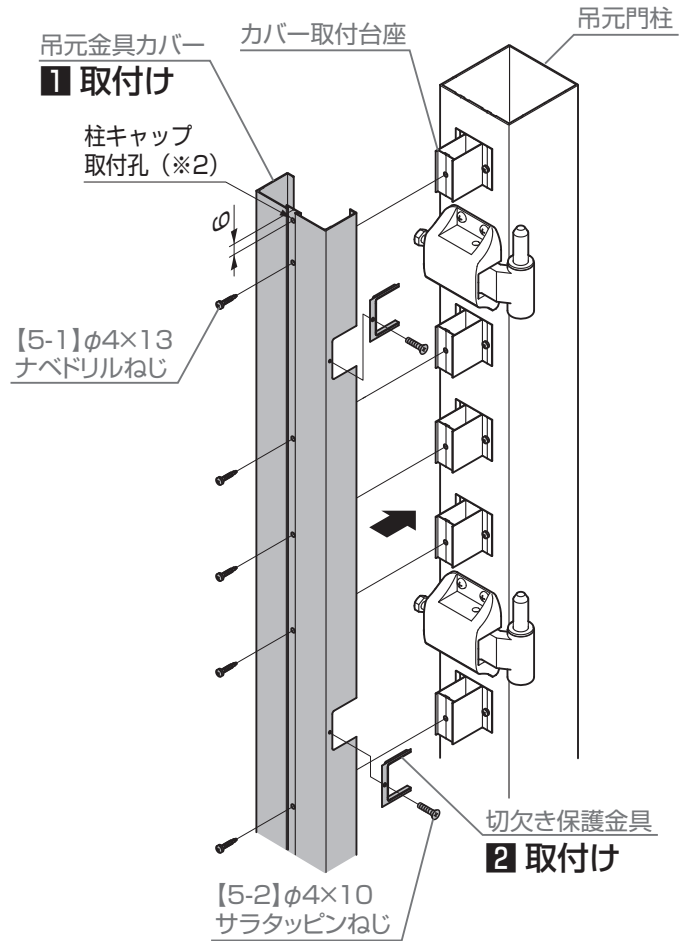


## 5-2 吊元カバーの取付け

1:吊元カバーを【5-1】でカバー取付台座に取付け

- 施工上のお願い**
- 門扉の吊り込み調整後に行ってください。なお詳細は門扉取付説明書の調整金具の調整方法を参照してください。
  - 吊元門柱の天端と高さが合うように取付けてください。
  - 吊元金具カバーは柱キャップ取付孔(※2)があいている方が上側になるように取付けてください。

2:吊元カバーの切り欠き加工部に切り欠き保護金具を【5-2】で取付け



**施工上のお願い**

●カバー取付台座は下記寸法を参照してφ3.5の下孔を空けてから取り付けてください。

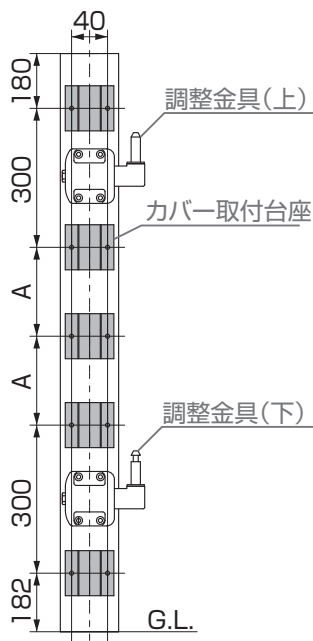


表5-1

| H    | A寸法   |
|------|-------|
| 1400 | 262.5 |
| 1600 | 362.5 |
| 1800 | 462.5 |
| 2000 | 562.5 |

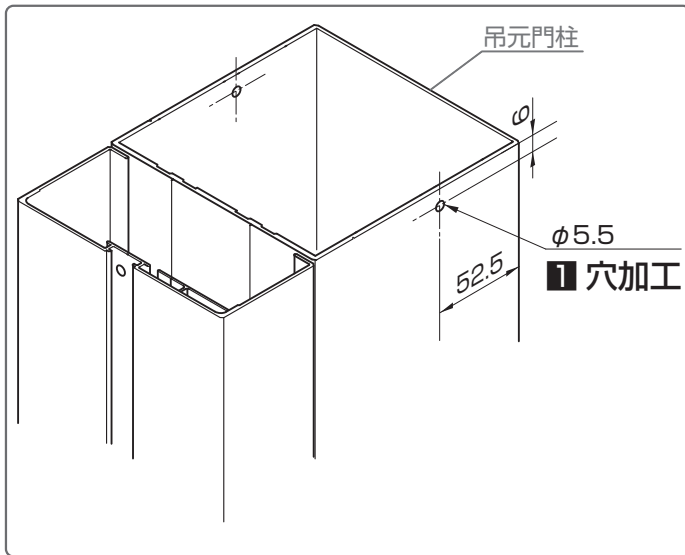
## 5 吊元金具カバーの取付け

### 5-3 門柱キャップBの取付け

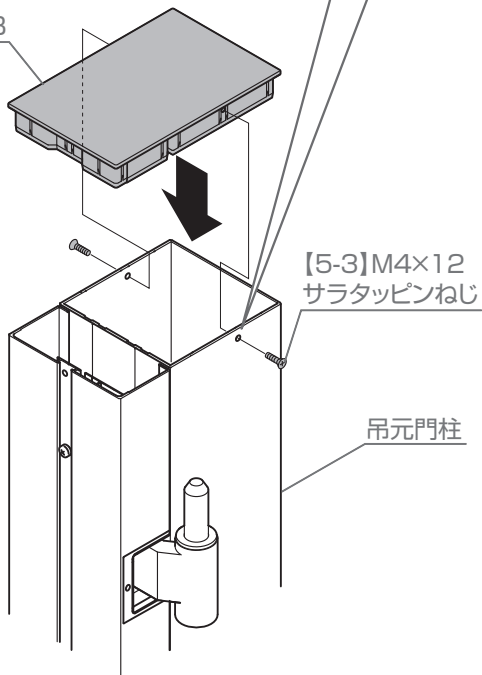
- 1: 門柱にキャップBを取り付けるためφ5.5の下穴加工
- 2: 門柱キャップBを【5-3】で取付け

#### 施工上のお願い

- 【5-3】による門柱キャップBの固定は、壁などの障害物でねじが2ヶ所止められない場合は1ヶ所にしてください。



#### 門柱キャップB 2 取付け



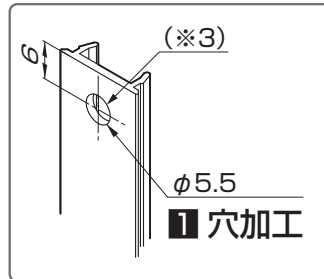
### 5-4 溝カバーの取付け

- 1: 溝カバーにキャップ取付用の孔を穴加工(※3)
- 2: 溝カバーを吊元金具カバーの溝へはめ込む

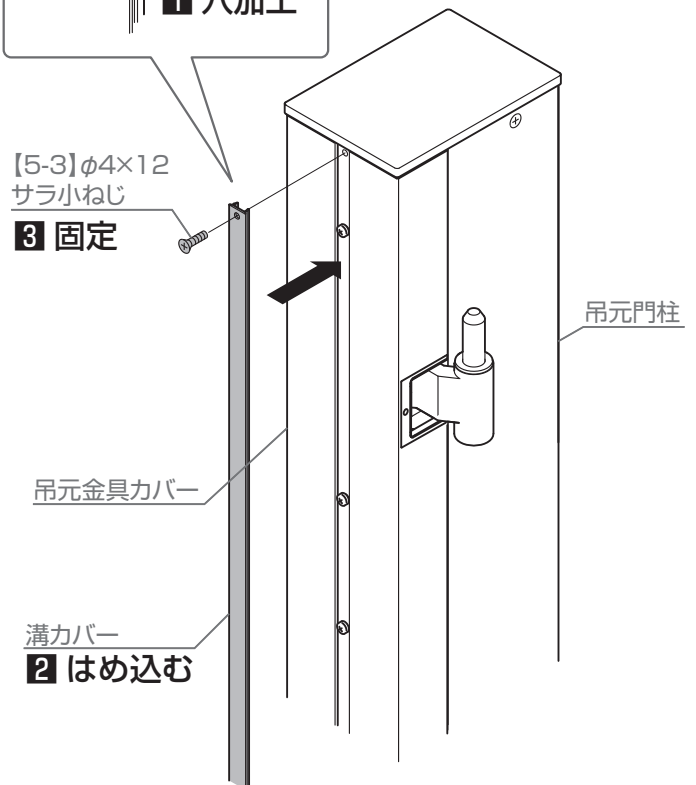
#### 補足

- 溝カバーがはめ込みにくい場合は、ハンマーなどでキズがつかないように軽く叩き込んでください。

- 3: 門柱キャップBを【5-3】で固定



- [5-3] φ4×12  
サラ小ねじ  
3 固定



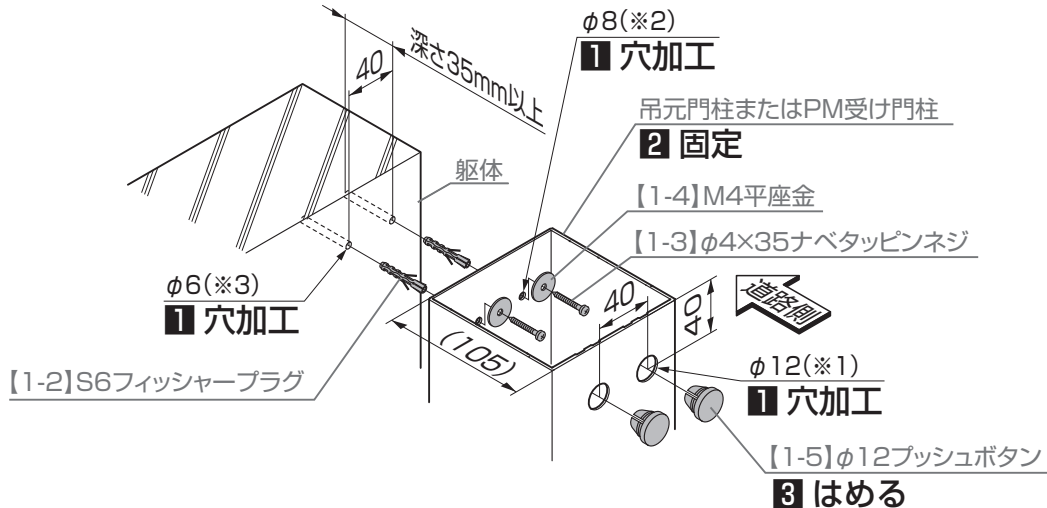
# 6 吊元門柱の躯体付け（現場状況に応じて発生）

## 補 足

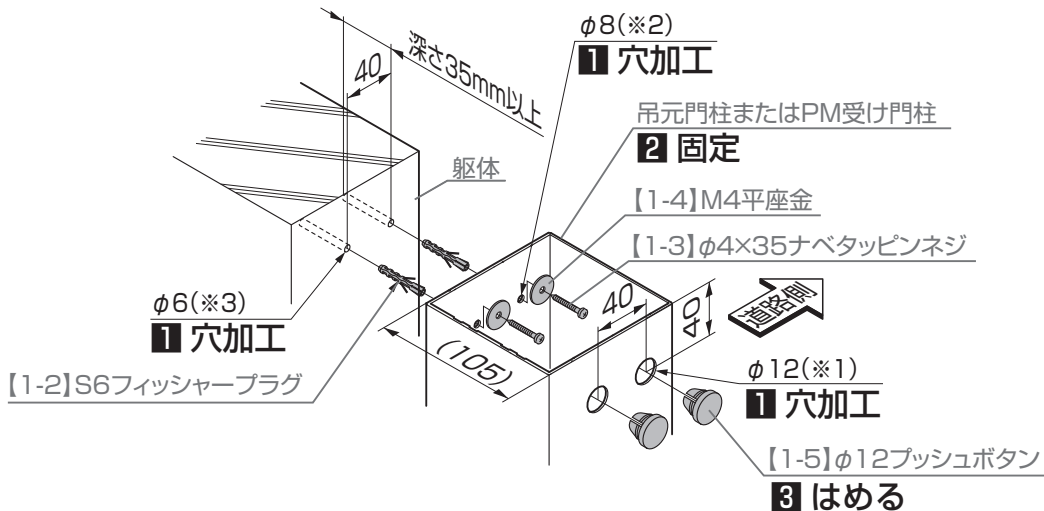
●十分な基礎が取れず、柱強度に影響が出る可能性がある場合、本作業を実施してください。

- 1: 門柱にφ12(※1)とφ8(※2)、躯体の同じ位置にφ6(※3)の穴加工
- 2: 躯体のφ6の穴に【1-2】をはめ、門柱を【1-3】、【1-4】で固定
- 3: 門柱のφ12の穴に【1-5】をはめる

### ▼（躯体に）門柱を後ろ付けする場合 ▼



### ▼（躯体に）門柱を横付けする場合 ▼



## 施工上のお願い

- 躯体への穴あけは、躯体に合わせた専用ドリルを使用してください。
- 【1-3】、【1-4】の取付けでは、有効長が105mm以上のドライバー用ビットを使用してください。
- 【1-2】、【1-3】で躯体に取付ける際は、必要によってシーリングを施してください。

取説コード

EXM-184

JZZ639954A  
202503\_1049  
202601A\_1049